

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	8			シート作成者		-		-	
事務事業名	自然体験教室の開催			事務区分	自治事務		部課かい名	教育推進部青少年課	
事業の目的	地域活動におけるリーダーの養成を図るため			事業の目標	子ども会の高学年を中心に自然の中で、様々な体験学習を通して、仲間や育成者とふれあう中で社会性を育み、子ども会のリーダーとして養成する。				
事業の概要	恵まれた自然環境の中にある野外研修施設などを利用し、各種体験活動を行い、育成者や仲間とのふれあいを通して社会性を育み、子ども会のリーダーとして養成していく。また将来のジュニアリーダーにも繋げていく。								
対象	市内小学生			事業の性質区分	定例・定型		業務計画	■	
指標	教室の開催回数(第2次実施計画) 参加児童の満足度(第3次実施計画)								
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)			
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
2回	2回	80%		80%		80%			
27年度		28年度		29年度		30年度			
実施計画事業費	-	1,164,000	1,081,000	※金額については1円単位で記入してください					
予算額	1,252,000	1,159,000							
決算額	1,008,001								
執行率	80.5%								
従事者数	0.33	0.36							
職員	0.28	0.31							
臨時・非常勤等	0.05	0.05							
特定財源	国庫支出金								
県支出金	350,000	350,000							
地方債									
その他	249,600	288,000							
一般財源	408,401	521,000							

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>市内の子ども会の5・6年生が自然の中で、異なる年齢、異なる地域の子ども同志で仲間になり、協力し合い、様々な体験学習を通して社会性を育み、子ども会のリーダーになるよう養成していく。参加した子どもたちは、子ども会を中心に地域活動を行う中学生や高校生のジュニアリーダーにも繋がるものであり、必要性は高い。しかしながら、宿泊を伴う研修は引率者の負担が大きく、また、ジュニアリーダーの増加に必ずしも結びついていない。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<p>小学校5、6年生を対象に、2回宿泊研修を実施。特に2回目は、秦野市の小学校5、6年生と合同で宿泊研修を実施しており、2回合わせて約100名の参加がある。体験学習や炊事などを通して協力し合うことを学んでいる。事業評価となる目標(実施回数2回)は、達成しているが、当該事業は子ども会のリーダーの養成を目的としているが、宿泊すること、キャンプすることが目的になっている参加者が多くっており、研修の中でもジュニアリーダーの活動の周知が必要である。</p>
事務効率	<p>7月の中旬から2週続けて宿泊研修を実施しているが、研修方法、研修の内容や日帰り研修などを検討し引率者の負担軽減が必要である。</p>
事業成果及び事務効率に対する評価	
<p>成果があがっておらず、効果的かつ効率的な実施手法の再検討が必要</p>	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	<p>研修の回数や内容、委託による実施、日帰り研修など、現在のレベルを落とさない内容で、引率者の負担軽減できる方法を今年度中に関係団体とも検討し、来年度より実施する。また、研修においてジュニアリーダーの活動紹介、やりがいなどを報告できる機会を設けて、ジュニアリーダーを目指す意欲を掻き立てる研修にし、ジュニアリーダー登録者数の増加に結びつける。なお、母体となる子ども会と子ども会への参加者の増加に向けて、子ども会活動に従事している方々との話し合いを9月より開始するとともに、子ども会活動の状況の動画や広報紙による周知を行っていく。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	12			シート作成者	-	-		
事務事業名	成人のつどい事業			事務区分	自治事務	部課かい名	教育推進部青少年課	
事業の目的	新成人を祝福するとともに、成人としての自覚を促すため			事業の目標		成人になったことを自覚できる式を実施する。 社会の一員としての役割を理解してもらう式を実施する。		
事業の概要	成人の日の式典、アトラクションの内容や安全な運営等について、実行委員会で検討を重ね、成人の日に実施する。							
対象	市内成人			事業の性質区分	定例・定型		業務計画	■
指標	新成人出席率							
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)		
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
75%	64.7%	75%		75%		75%		

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>新成人の実行委員会による手作りの成人式であり、新成人の門出を祝い、茅ヶ崎市や地域とのつながり、きずなを感じることができる事業である。新成人が一堂に会し中学校卒業以来の再会ができるため、出席率も高く、出席してよかったという声もあり、市で継続して実施する必要がある。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	27年度は新成人2,182人のうち、1,414人が参加した。第2次実施計画の目標値75%に対し、64.8%と目標値を下回っているが、新成人で構成される実行委員会が企画、運営を行っており、手作り感のある想い出残る式典となっている。しかし、アトラクションは例年同様に開催しており、式典としてふさわしいものか検討する必要がある。
事務効率	企画運営は、新成人のボランティアによる実行委員会が年間スケジュールに沿って準備を行っているが、多くの人が集まるイベントのため、式典費用は企業広告の利用などを検討し抑制していく必要がある。
<div>↓</div>	
事業成果及び事務効率に対する評価	
成果があがっておらず、効果的かつ効率的な実施手法の再検討が必要	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	<p>新成人に毎回送付している成人のつどいの開催案内通知については、葉書作成業者と協定を結び、企業広告を掲載することで費用の削減を図るとともに、特典つき広告とすることで多くの参加者も見込める。平成29年1月に開催の成人のつどい案内から実施する。また、来年1月の開催に向けて、今年度の実行委員会において成人のつどいにふさわしく魅力的な式典内容になるよう検討を行っていく。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	15			シート作成者	-	-	
事務事業名	インターネット有害情報監視事業	事務区分	自治事務	部課かい名	教育推進部青少年課		
事業の目的	インターネットを介したいじめや犯罪から子どもたちを守る	事業の目標	検索件数の増進。				
事業の概要	インターネット犯罪から子どもたちを守るため、パソコンと携帯電話を使用してインターネット上の有害情報を監視する。 個人の誹謗中傷や個人情報の漏洩などが特定できる物については、学校と連携し、サイト管理者への削除依頼などの対応を行う。						
対象	市内小・中学生	事業の性質区分	定例・定型			業務計画	■
指標	小学校、中学校の検索件数(第2次実施計画) 小・中学校に係るインターネット上の検索件数(第3次実施計画)						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
5, 000件/月	7, 683件/月	6, 800件/月		6, 800件/月		6, 800件/月	
27年度		28年度		29年度		30年度	
事業費	実施計画事業費	-	1,341,000	1,010,000	901,000	※金額については1円単位で記入してください	
	予算額	2,442,000	1,341,000				
	決算額	2,089,234					
	執行率	85.6%					
	従事者数	1.16	0.65				
	職員	0.12	0.13				
財源内訳	臨時・非常勤等	1.04	0.52				
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
一般財源		2,089,234	1,341,000				

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>携帯やパソコンが普及するなか、インターネット情報の監視を行い、子どもたちをインターネットの有害情報から守り、青少年の健全な育成を推進するために実施している。家族や担任においても知りえないような生徒の内面部分の情報や交友関係、生徒と保護者の関係などの情報を小中学校に情報提供することで生徒の指導に生かすことができている。小学校、中学校の教諭と連携を取り、個人情報についての取扱いや対応について協議のうえ、個人への誹謗、中傷に対する対応等について取り組む必要がある。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<p>最近ではLINEやFacebookなど閉鎖的なインターネット環境の発生により、いじめなどによるインターネット上の悪質な書き込みの監視がしにくい状況にあるものの、27年度の検索件数は、7,683件で26年度比972件の増であり、第2次実施計画の目標値を上回っている。学校からの生徒の安全にかかわるような緊急依頼についても検索結果を学校へ提供し解決に役立っている。個人が特定できるものやクラスが特定できるもの、児童生徒、先生への誹謗中傷などはサイト管理者へ削除依頼をしている。学校へ情報提供することで、本人への指導や保護者との相談に結びつき、課題の解決に結びついている。</p>
事務効率	<p>従来2名体制で実施していたが、28年度からは1名体制の実施となるため、より効果的な検索方法を検討する必要がある。</p>
<div>↓</div>	
事業成果及び事務効率に対する評価	
<p>成果があがっているが、実施手法は効率的でない</p>	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率を上げる	<p>効率よくピンポイントでツイッターやブログなどの書き込みを検索できるよう、検索のキーワードとなるものを学校との連携を密にして得ることや、夏休み明け、年末などの期間に集中して検索するなど工夫をしながら、検索数は少なくなるが、質の向上を図り、監視を強化していく。28年度より小中学校と連携して実施する。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]